

 **WinActor[®]**
Ver.7.5.1 リリースノート

NTTアドバンステクノロジー株式会社

Ver.7.5.1では、Ver.7.5.0にて判明した問題に対処しています。

問題への対処のために新しいブラウザ拡張機能を公開しますので、必要に応じて更新をお願いします。

本ドキュメントでは以下を掲載します。

(1) 問題への対処

Ver.7.5.1で対処した主な問題は以下の通りです。

- ①ブラウザ拡張機能で「フレーム選択」を実施すると、特定のフレーム構造を持つWebページで、フレーム選択後のクリック操作などに失敗してしまう問題
- ②ローカル変数を設定したサブルーチンからシナリオファイル呼び出しノードを実行すると、不測のエラーが発生する問題
- ③管理サーバーからの指示でシナリオを実行する際に、シナリオ実行が開始されない問題
- ④オフライン環境でシナリオ実行が遅延する問題
- ⑤syslogサーバー連携機能がRFC5424に対応していない問題

その他、特定の画面操作やノード/ライブラリ実行に関わる問題に対処しています。

(2) ブラウザ拡張機能の更新方法

Ver.7.5.1ではブラウザ拡張機能をVer.1.29に更新しています。各ブラウザでの更新方法をご案内します。

1 問題への対処

①ブラウザ拡張機能で「フレーム選択」を実施すると、特定のフレーム構造を持つWebページで、フレーム選択後のクリック操作などに失敗してしまう問題



WinActor Ver.7.5.0に同梱しているブラウザ拡張機能Ver.1.27で「フレーム選択」を実施すると、特定のフレーム構造を持つWebページ(※)で、フレーム選択後のクリック操作などに失敗してしまう問題がありました。(※)frame/iframeのsrc属性に指定されたURLと異なるURLのコンテンツがフレームにロードされるWebページ。

Ver.7.5.1と同時にリリースするブラウザ拡張機能Ver.1.29でこの問題を解消し、フレーム選択後のクリック操作などでエラーが発生しなくなるよう修正しました。

問題に対処したブラウザ拡張機能Ver.1.29は、Chromeウェブストアより自動的に配布されます。手動更新手順を含むブラウザ拡張機能の更新方法は、後述の[こちら](#)のページをご参照ください。

②ローカル変数を設定したサブルーチンからシナリオファイル呼び出しノードを実行すると、不測のエラーが発生する問題

Ver.7.5.0にてローカル変数を設定したサブルーチンからシナリオファイル呼び出しノードを実行すると、処理が呼び出し元シナリオへ戻るタイミングで、不測のエラーが発生する問題がありました。

Ver.7.5.1でこの問題を解消し、シナリオファイル呼び出しノードの実行時に処理が呼び出し元シナリオへ戻るタイミングで、エラーが発生しなくなるよう修正しました。

Ver.7.5.0にて管理サーバーからの指示でシナリオを実行する際、WinActorを最小化していると、管理サーバーからはシナリオを実行開始しているように見えますが、実際にはシナリオ実行が開始されない場合がある問題がありました。

Ver.7.5.1でこの問題を解消し、WinActorのウィンドウ状態に関わらず正しくシナリオ実行が開始されるよう修正しました。

④オフライン環境でシナリオ実行が遅延する問題

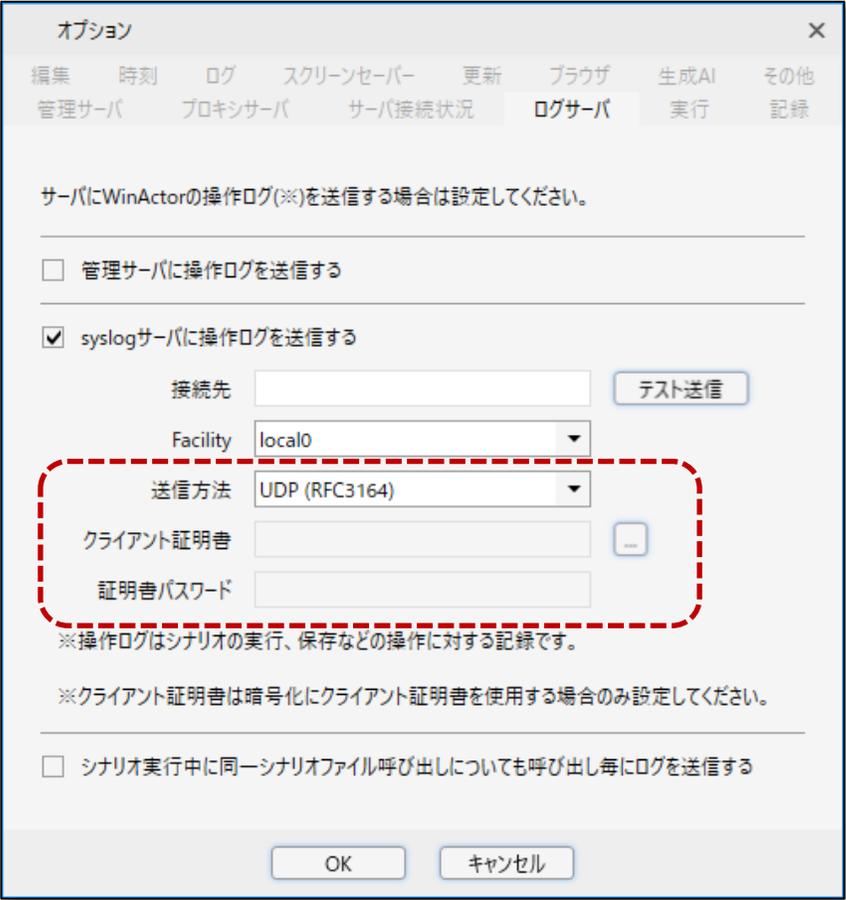
オフライン環境においてVer.7.5.0でシナリオ実行する際、シナリオ実行が遅延する場合があります。問題がありました。

Ver.7.5.1でこの問題を解消し、オフライン環境においてもシナリオ実行が遅延しなくなるよう修正しました。

⑤syslogサーバー連携機能がRFC5424に対応していない問題

ログサーバー連携機能において、syslogサーバーへ操作ログを送信する際の送信方法がRFC5424に対応していない問題がありました。Ver.7.5.1でこの問題を解消し、RFC5424に準拠した送信方法を選択できるよう修正しました。

新しい送信方法はオプション画面の「ログサーバ」タブより設定可能です。送信方法の選択肢やクライアント証明書の要否はサーバー側の設定に依存しますので、ご利用の環境のsyslogサーバー管理者へご確認ください。これまでsyslogサーバーと連携していたWinActorでは、特に設定変更せずにVer.7.5.0以前と同様の送信方法をご利用いただけます。



オプション

編集 時刻 ログ スクリーンセーバー 更新 ブラウザ 生成AI その他
管理サーバ プロキシサーバ サーバ接続状況 ログサーバ 実行 記録

サーバにWinActorの操作ログ(※)を送信する場合は設定してください。

管理サーバに操作ログを送信する

syslogサーバに操作ログを送信する

接続先 テスト送信

Facility local0

送信方法 UDP (RFC3164)

クライアント証明書

証明書パスワード

※操作ログはシナリオの実行、保存などの操作に対する記録です。

※クライアント証明書は暗号化にクライアント証明書を使用する場合のみ設定してください。

シナリオ実行中に同一シナリオファイル呼び出しについても呼び出し毎にログを送信する

OK キャンセル

※ 詳細は、操作マニュアル(WinActor_Operation_Manual)「3.14 オプション画面 ■ログサーバタブ」をご参照ください。

その他、Ver.7.5.1では22件の改善を行っています。

詳細については下記の資料をご参照ください。

- WinActor_v751_改善の一覧.pdf

また、上記一覧とは別に、WinActor及びWinActor Storyboardで表示するメッセージ、および、マニュアルの内容がより読みやすく、分かりやすくなるよう、文言・表現を見直しました。

2

ブラウザ拡張機能の更新方法

ブラウザ拡張機能の更新方法 - Chrome

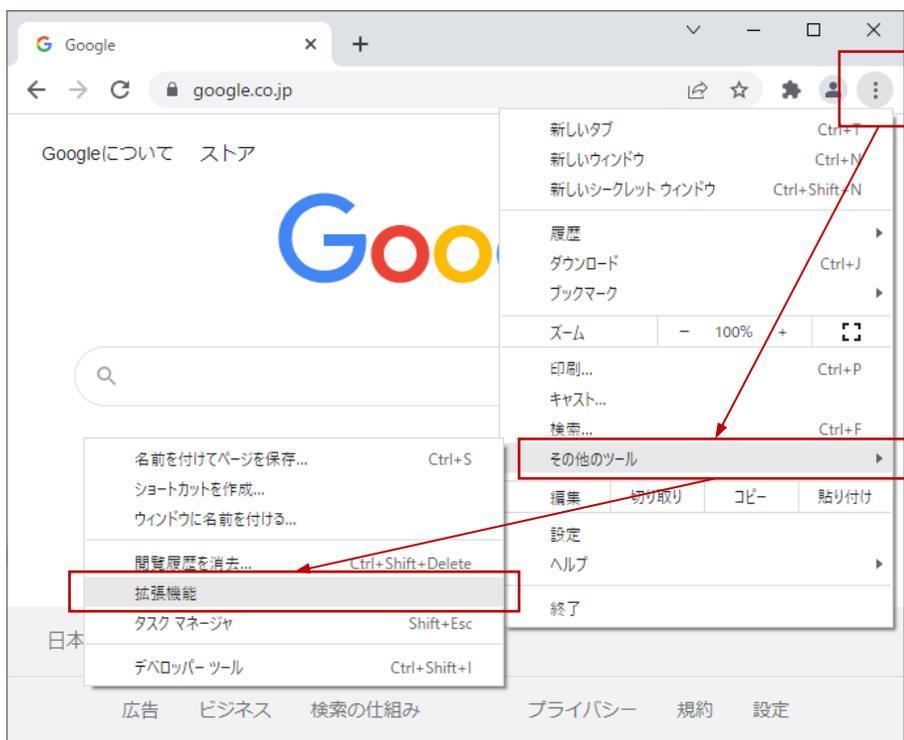
Ver.7.5.1ではブラウザ拡張機能をVer.1.29に更新しています。各ブラウザでの更新方法についてご案内します。

■ Chrome

既に拡張機能をインストールし、インターネットに接続している場合は自動的にバージョンアップされます。

手動更新する場合はChromeの拡張機能画面を開き、下図の手順に従って更新してください。

また、WinActor起動中に拡張機能を更新した場合は、起動中のWinActorを再起動してください。



ブラウザ拡張機能の更新方法 - Edge

■ Edge

既に拡張機能をインストールし、インターネットに接続している場合は自動的にバージョンアップされます。

手動更新する場合はEdgeの拡張機能画面を開き、下図の手順に従って更新してください。

また、WinActor起動中に拡張機能を更新した場合は、起動中のWinActorを再起動してください。

手動更新する場合は「更新」ボタンを押してください。

バージョンアップ後は「1.29」と表示されます。

最初に開発者モードをONにしてください。

■ Firefox

Firefox拡張機能は、WinActor Ver.7.5.1で改めて手動インストールしてください。

手動インストールの手順は、Firefox拡張機能インストールマニュアル

(WinActor_Firefox_Agent_Installation_Manual.pdf)の「2. インストール手順」をご参照ください。

Ver.7.4.0～Ver.7.5.0に同梱している旧バージョンのFirefox拡張機能を事前に導入している場合、旧バージョンの拡張機能をアンインストールせずにVer.1.29をインストールしていただいても問題ありません。

 **WinActor[®] Ver.7.5.1 リリースノート**

NTTアドバンステクノロジー株式会社

Copyright(c) 2024 NTT Corp. & NTT Advanced Technology Corp. All Rights Reserved.

本書は著作権法上の保護を受けています。本書の一部あるいは全部を無断で複写、複製することは禁じられています。
本書の内容は予告なく変更される場合があります。

64-K-1009